

事務事業名	50944 区画整理審議会委員選挙費												
担当組織	都市整備部						土地区画整理事務所			担当	管理・換地計画担当		
組織コード	20	15	00	会計・款・項・目・大・中・小	15	02	01	03	01	01	記入日	平成30年06月01日	

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補	
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									○ 対象 ● 対象外	
分野	02	市街地整備										
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理										
事業期間	平成31年度～平成31年度											
根拠法令 通達等	土地区画整理法 戸田市計画事業新曽第二土地区画整理事業施行規程						関連計画 施政方針					
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの											
対象	新曽第二土地区画整理事業地区内の土地所有者及び借地権者											
事業目的	公共団体施行等の区画整理事業において、権利者の意思をできるだけ反映させ、事業が民主的かつ能率的に運営するための委員選出											
事業内容	区画整理事業に係る換地計画、仮換地指定及び保留地に関する事項の審議をする委員の選挙事務。（業務委託以外の選挙事務にかかる経費）											
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()											

2. 事務事業の計画

(1) 投入資源（予算と人員）				
		平成31年度 計画額（千円）	平成32年度 計画額（千円）	平成33年度 計画額（千円）
事業内容		土地区画整理審議会委員の選挙事務。（業務委託以外の選挙事務にかかる経費）		
事業費		995	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	995	0	0
人件費		8,276.4	0	0
投入人員	常勤職員	1.2人	0人	0人
	非常勤職員	0.2人	0人	0人
事業費+人件費		9,271	0	0

(2) 事業目標						
指標名		単位	説明・算定式	平成31年度 目標値	平成32年度 目標値	平成33年度 目標値
活動①	選挙事務の実施	回	5年に一度実施する。	1	-	-
活動②						
成果①	委員の選出（選挙する委員及び学識経験委員）	人	委員を選出する	10	-	-
成果②						

3. 事前評価

施策への貢献度	施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由>
経費水準	事業費・人件費の水準は適正か。
	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由>
事業手法	事業手法は適正か。
	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由>
受益・負担の公平性	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由>

4. 意思決定

意思決定	<ul style="list-style-type: none"> ● A：この計画で実施する ○ B：計画を見直して実施する ○ C：実施しない <「意思決定」に関する判断理由・コメント> 区画整理審議会委員の選挙は、事業が終了するまで必ず5年に1度選挙を実施する必要がある。
事業実施における留意点	5年に1回の選挙について、実施にあたり前年度での予算化、告示の準備等遺漏のないよう実施しなければならない。

事務事業名	50944 区画整理審議会委員選挙費												
担当組織	都市整備部						土地区画整理事務所			担当	管理・換地計画担当		
組織コード	20	15	00	会計・款・項・目・大・中・小	15	02	01	03	01	01	記入日	平成30年06月01日	

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補	
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									○ 対象 ● 対象外	
分野	02	市街地整備										
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理										
事業期間	平成31年度～平成31年度											
根拠法令 通達等	土地区画整理法 戸田市計画事業新曽第二土地区画整理事業施行規程						関連計画 施政方針					
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの											
対象	新曽第二土地区画整理事業地区内の土地所有者及び借地権者											
事業目的	公共団体施行等の区画整理事業において、権利者の意思をできるだけ反映させ、事業が民主的かつ能率的に運営するための委員選出											
事業内容	区画整理事業に係る換地計画、仮換地指定及び保留地に関する事項の審議をする委員の選挙事務。（業務委託以外の選挙事務にかかる経費）											
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()											

2. 事務事業の計画

(1) 投入資源（予算と人員）				
		平成31年度 計画額（千円）	平成32年度 計画額（千円）	平成33年度 計画額（千円）
事業内容		土地区画整理審議会委員の選挙事務。（業務委託以外の選挙事務にかかる経費）		
事業費		995	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	995	0	0
人件費		8,276.4	0	0
投入人員	常勤職員	1.2人	0人	0人
	非常勤職員	0.2人	0人	0人
事業費+人件費		9,271	0	0

(2) 事業目標						
指標名		単位	説明・算定式	平成31年度 目標値	平成32年度 目標値	平成33年度 目標値
活動①	選挙事務の実施	回	5年に一度実施する。	1	-	-
活動②						
成果①	委員の選出（選挙する委員及び学識経験委員）	人	委員を選出する	10	-	-
成果②						

3. 事前評価

施策への貢献度	施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由>
経費水準	事業費・人件費の水準は適正か。
	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由>
事業手法	事業手法は適正か。
	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由>
受益・負担の公平性	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由>

4. 意思決定

意思決定	<ul style="list-style-type: none"> ● A：この計画で実施する ○ B：計画を見直して実施する ○ C：実施しない <「意思決定」に関する判断理由・コメント> 区画整理審議会委員の選挙は、事業が終了するまで必ず5年に1度選挙を実施する必要がある。
事業実施における留意点	5年に1回の選挙について、実施にあたり前年度での予算化、告示の準備等遺漏のないよう実施しなければならない。